

令和4年 10月 11日

各 委 員 様

認知症対応型通所介護 幸寿苑
管 理 者 戸 田 な つ き

令和4年度 第1回運営推進会議書面にて報告

秋冷の候、委員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は運営推進会議の委員就任へのご承諾、誠にありがとうございます。委嘱状を送付いたしますので、ご査収ください。また、先月は当法人にて新型コロナウイルス感染が発生し、通所介護は職員が施設に配属となり、終息まで一ヶ月休業致しました。市内におきましても、未だ多くの感染者が確認されています。そこで令和4年度も前年度同様、感染予防対策のため、施設内での会議開催の検討をし、書面にて報告をさせていただきたく、別添の通り資料をお送り致します。

内容をご確認していただき、確認書を返送していただければ幸いです。委員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1、委嘱状

2、令和3年度 認知症対応型通所介護事業報告

3、令和4年度 認知症対応型通所介護事業計画

4、令和4年度 新型コロナウイルス感染予防対策について報告

5、確認書

令和3年度 地域密着認知症対応型通所介護利用実績

認知症対応型通所介護(定員12名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業実施日	25	26	22	27	26	26	26	26	24	24	24	26	302
通所介護実人数	21	21	20	20	19	20	20	20	21	20	19	20	241
通所介護延人数	229	242	206	220	216	226	231	242	214	199	204	232	2,661

(介護予防) 認知症対応型通所介護(定員:認知症対応型通所介護12名に含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業実施日	25	26	22	27	26	26	26	26	24	24	24	26	302
通所介護実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

稼働率(%)	76.3	77.5	78.0	67.9	69.2	72.4	74.0	77.5	74.3	69.0	70.8	74.3	73.4
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

認知症対応型通所介護 平均介護度	認知症対応型最高齢者	
	男性	88歳
認知症対応型最低齢者		100歳
男性		66歳
女性		59歳

通所介護事業内容報告(認知症型・認知症型予防)

令和3年4月～令和4年3月

月	日	事 業 内 容
4月	2日～3日	自由活動(輪投げ)
	5日～10日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、トランプ等)
	12日～17日	体操クラブ
	19日～24日	4月の誕生会(100歳のお祝い) 5月カレンダー制作・ボード制作
	26日～5/1日	自由活動(塗り絵)
5月	3日～8日	ビデオ鑑賞(まんが日本昔話)
	10日～15日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、塗り絵等)
	17日～22日	ゲーム(ボウリング)
	24日～29日	5月の誕生会、6月のカレンダー制作・ボード制作
6月	5/31日～5日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、言葉遊び等)
	7日～8日	貼り絵クラブ ※6/9～6/12コロナウイルス感染対策につき営業休止
	14日～19日	ミニ運動会
	21日～26日	7月のカレンダー制作・ボード制作
7月	6/28日～3日	七夕制作
	5日～10日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、塗り絵等)
	12日～17日	ゲーム(輪投げ)
	19日～24日	自由活動(すごろく)
	26日～31日	7月の誕生会、8月カレンダー制作・ボード制作
8月	2日～7日	夏祭り(射的ゲーム)
	9日～14日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、トランプ等)
	16日～21日	体操クラブ
	23日～28日	8月の誕生会、9月カレンダー制作・ボード制作
9月	8/30日～4日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、塗り絵、ゲーム等)
	6日～11日	貼り絵クラブ
	13日～18日	音楽クラブ
	20日～25日	9月の誕生会、10月カレンダー制作・ボード制作
	27日～10/2日	自由活動(折り紙)
月	日	事 業 内 容
10月	4日～9日	リズム体操
	11日～16日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、言葉遊び等)
	18日～23日	ゲーム(もぐらたたきゲーム)
	25日～30日	10月の誕生会、11月カレンダー制作・ボード制作
11月	1日～6日	ビデオ鑑賞
	8日～13日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、体操等)
	15日～20日	貼り絵クラブ
	22日～27日	11月の誕生会、12月のカレンダー制作、ボード制作
12月	11/29日～4日	自由活動(輪投げ)
	6日～11日	体操クラブ
	13日～18日	12月の誕生会 1月のカレンダー制作、ボード制作
	20日～25日	クリスマス会(カード制作)
	27日～28日	自由活動(爪切り、塗り絵)
1月	4日～8日	正月遊び(すごろく、福笑い)
	10日～15日	音楽クラブ
	17日～22日	1月の誕生会 2月のカレンダー制作、ボード制作
	24日～29日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、ゲーム等)
2月	1/31日～5日	節分豆まき
	7日～12日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、音楽等)
	14日～19日	貼り絵クラブ
	21日～26日	3月カレンダー制作、ボード制作
3月	2/28日～5日	自由活動(塗り絵)
	7日～12日	憩いの時間(爪切り、耳そじ、言葉遊び等)
	14日～19日	ゲーム(ボウリング)
	21日～26日	3月の誕生会、4月のカレンダー制作、ボード制作
	28日～31日	自由活動(音楽)
備考	* 新型コロナウイルス感染予防から、昨年度は歌の行事は控えていたが、認知症進行予防のため 一定方向を見て距離を開け、発声や歌の時間を設けた。 * 耳が聞こえにくい方が多かったため、ホワイトボードを使用し視覚に訴える行事を取り入れた。 * 理解力の低い方が増えたため、塗り絵やゲーム等理解しやすいレクリエーションを多く実施した。	

年間事業計画
通所介護令和4年度

令和4年度 認知症対応型通所介護幸苑事業計画

1・経営方針

認知症対応型通所介護の利用者が、不安の解消が図れるような環境作りに努め、安心し楽しんで過ごしていただき、充実した在宅生活の継続と共に家族の身体的・精神的な負担の軽減につながるサービス提供を目指す。

2・基本方針

(1) 利用者とのコミュニケーションの充実

認知症の理解に努め、利用者の声に耳を傾け、常に利用者の意思及び人格を尊重できるよう努め、利用中落ち着いて過ごせるように支援する。

(2) サービス提供の充実

居宅サービス計画書に基づき、援助計画や個別機能訓練計画を作成すると共に適切な介護サービスを提供し、さらに脳トレーニングなどを活用し認知症の進行予防に努め利用者がより良い在宅生活が送れるよう支援する。

(3) 関係機関とのネットワークの強化

介護サービス事業所、介護支援専門員及び医療機関との連携を密にし、必要に応じたサービス担当者会議を開催すると共に情報の共有に努め、関係機関のネットワーク強化に努める。

(4) 職員の資質の向上

職員は、常に介護サービスの向上に努め、専門職としての知識及び技術の向上を図ると共に介護サービスの資質の向上に努める。

(5) 苦情処理

利用者及び家族等から苦情の申し出があった場合は、苦情の内容を速やかに把握し、解決に努めるものとする。苦情の内容等から苦情解決委員会設置要綱に基づき処理する必要がある場合は、要綱の定めに従い速やかな解決に努める。

(6) 事故防止対策

利用者に、緊急事態が発生した場合は、緊急マニュアルの定めに基づき、必要な連絡に努め、事故等を最小限に止めるものとする。

また、各感染症に対して、感染拡大防止に努め、感染症マニュアルの定めに基づき、必要な対応を行っていく。

令和4年度 介護予防認知症対応型通所介護幸寿苑事業計画

1・経営方針

介護予防認知症対応型通所介護の利用者が、不安の解消が図れるような環境作りに努め、安心し楽しんで過ごしていただき、充実した在宅生活の継続と共に家族の身体的・精神的な負担の軽減につながるサービス提供を目指す。

2・基本方針

(1) 利用者とのコミュニケーションの充実

認知症の理解に努め、利用者の声に耳を傾け、常に利用者の意思及び人格を尊重できるように努め、利用中落ち着いて過ごせるように支援する。

(2) サービス提供の充実

個別支援計画や個別機能訓練計画を作成すると共に適切な介護サービスの提供を行い、利用者の意欲を高め、自立を支援し生活の質の向上が図れ介護予防に努める。

(3) 関係機関とのネットワークの強化

介護サービス事業所、地域包括支援センター、介護支援専門員及び医療機関との連携を密にし、必要に応じたサービス担当者会議を開催すると共に情報の共有に努め、関係機関のネットワーク強化に努める。

(4) 職員の資質の向上

職員は、常に介護サービスの向上に努め、専門職としての知識及び技術の向上を図ると共に介護サービスの資質の向上に努める。

(5) 苦情処理

利用者及び家族等から苦情の申し出があった場合は、苦情の内容を速やかに把握し、解決に努めるものとする。苦情の内容等から苦情解決委員会設置要綱に基づき処理する必要がある場合は、要綱の定めに従い速やかな解決に努める。

(6) 事故防止対策

利用者に、緊急事態が発生した場合は、緊急マニュアルの定めに基づき、必要な連絡に努めると共に事故等を最小限に止める、必要な解決に努めるものとする。

また、各感染症に対して、感染拡大防止に努め、感染症マニュアルの定めに基づき、必要な対応を行っていく。

令和4年度上期 新型コロナウイルス感染予防対策

4月	全体会議を行い、感染症対策の再確認をするとともに、行事内容を検討。認知症状が重度化しており、脳トレーニング等が困難になってきたため、感染対策を徹底しながら歌の行事を再開する。
5月	他県への外出や、他県からの来客があった場合、3日の様子観察のためお休み頂くことにしているが、ゴールデンウィークのため、多くの欠席があった。
6月	利用者数の減少が著しい。市内の感染状況がやや落ち着いていることもあり、デイサービスの広告を作成し、他事業所を訪問。新型コロナウイルスワクチン3回接種、県外への往来が2週間ないことを条件に体験利用も積極的に受け入れ実施したが、認知型の新規利用者数は増加していない。
7月	他事業所にてコロナウイルス感染あり、併用利用している方の状況確認を行いながら慎重に受け入れ実施。
8月	幸寿苑施設内にて新型コロナウイルス感染発生。デイサービスは8/8～9/7まで営業休止する。

※ 施設にて新型コロナウイルス感染発生、終息までの一か月間、デイサービスを休止し職員は施設へ配属となりました。感染の恐ろしさを実感し、更に感染症対策への意識が向上致しました。また、一か月の休業により、認知症状が進行した利用者様も数名見受けられ、デイサービス利用の必要性も再認識させられました。

下期も引き続き、利用者様・ご家族様と連絡を密に行い、ウイルスを持ち込まない事を念頭に置き、感染症防止対策を徹底していく所存です。

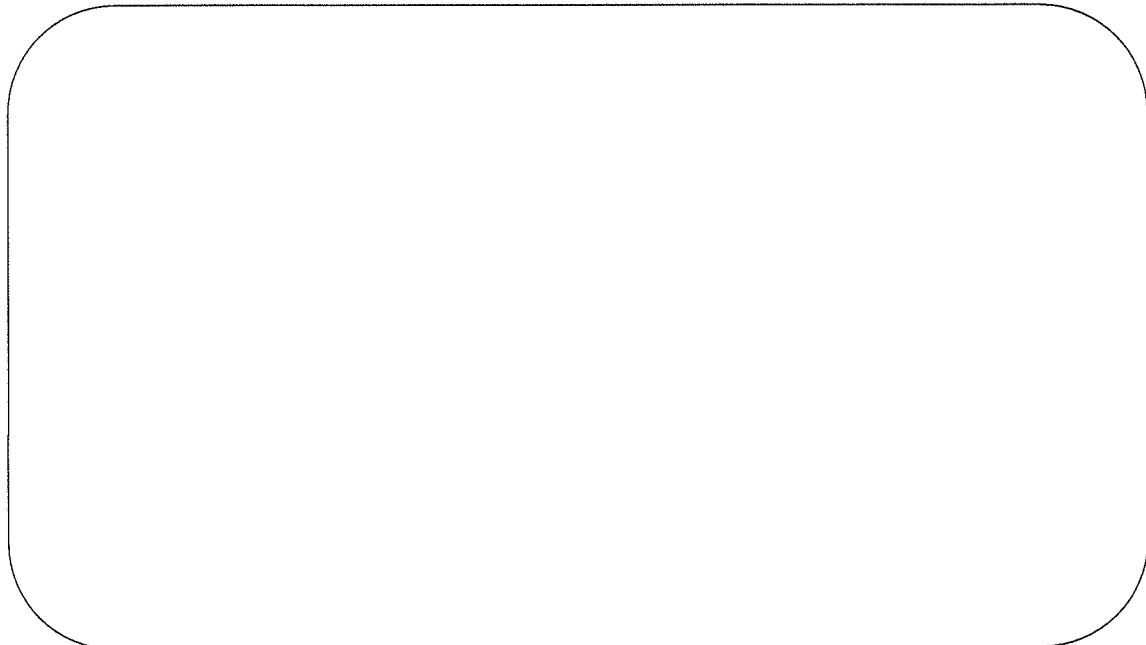
確認書

令和 3 年度 第 1 回運営推進会議報告等を文書にて確認しました。

令和 3 年 月 日

氏名 印

委員からのご意見

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for handwritten signatures or written comments from committee members.

令和5年 3月 22日

各 委 員 様

認知症対応型通所介護 幸寿苑
管 理 者 戸 田 な つ き

令和4年度 第2回運営推進会議書面にて報告

陽春の候、委員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、市内におきまして、新型コロナウイルス感染終息が未だ見えてこない状況です。そこで、感染予防対策のため、施設内での会議開催の検討をし、今回も書面にて報告をさせていただきたく、別添の通り資料をお送り致します。
内容をご確認していただき、確認書を返送していただければ幸いです。委員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 1、 令和4年度 認知症対応型通所介護下期事業報告
- 2、 令和4年度 認知症対応型通所介護事故・ヒヤリハット集計報告
- 3、 令和4年度 事例報告
- 4、 確認書

令和4年度（予防）認知症対応型通所介護下期事業内容報告

令和 4年 10月～ 令和 5年 3月

月	日	事業内容
10月	1日	自由活動(ゲーム、塗り絵)
	3日～8日	貼り絵クラブ
	10日～15日	憩いの時間（爪切り、耳掃除、パズル等）
	17日～22日 24日～29日	紙芝居 10月の誕生会 11月カレンダー制作、ボード制作
11月	1日～5日	ゲーム
	7日～12日	昔遊び
	14日～19日	憩いの時間(爪切り、耳掃除、体操等)
	21日～26日	11月の誕生会、 12月のカレンダー制作、ボード制作
12月	1日～3日	憩いの時間(爪切り、耳掃除)
	5日～10日	リズム体操
	12日～17日	クリスマス会(カード制作)
	19日～24日 26日～28日	12月の誕生会 1月のカレンダー制作、ボード制作 自由活動（音楽等）
1月	4日～10日	正月遊び
	11日～14日	DVD鑑賞
	16日～21日	憩いの時間(爪切り、耳掃除、体操等)
	23日～28日	1月の誕生会 2月カレンダー制作、ボード制作
2月	1日～4日	節分豆まき
	6日～11日	貼り絵クラブ
	13日～18日	憩いの時間(爪切り、耳掃除、音楽等)
	20日～25日	3月カレンダー制作、 ポート制作
3月	1日～4日	ゲーム
	6日～11日	憩いの時間(爪切り、耳掃除、ゲーム等)
	13日～18日	bingo大会
	20日～25日 27日～31日	3月の誕生会、4月のカレンダー制作、ポート制作 自由活動（音楽等）
備考	<ul style="list-style-type: none"> *新型コロナウイルス感染予防の観点から、ホワイトボードを使用し一定方向を見て行う。 *午前中は塗り絵、言葉遊びを中心に実施。 *できるだけ多くの利用者が理解し参加できる、わかりやすいゲームを取り入れ実施。 	

来年度への課題

全体的に認知症状の重度化が進んでおり、帰宅願望も多い中、穏やかに過ごせる環境作り

令和4年度 (予防) 認知症対応型通所介護 事故・ひやりはっと 集計結果

分類	集計分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故		0	4	0	0	0	1	2	2	1	1	0	1	12
ヒヤリ・ハット		1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
時間	8時～12時	0	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	6
	12時～18時	1	1	0	2	0	2	1	0	1	1	0	1	10
場所	居室	1	3	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	10
	廊下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	便所	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	食堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浴室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脱衣室	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	施設外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
区分	転倒・転落	0	2	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	6
	ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	誤嚥・誤飲	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	外傷	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	他利用者への加害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	2	0	1	1	0	1	0	0	1	7
けがの状態	打撲	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	4
	創傷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	1	3	0	2	0	1	2	1	1	0	0	0	11
	けがはない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度別	要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 3	1	3	0	1	0	2	1	1	1	0	0	0	10
	要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 5	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	6

※ 要介護 3 女性の転倒が5回と多くあった。その都度再発防止対策を検討したが、理解力の低下があり、職員の指示が伝わりにくく、未然に防ぐことが困難であった。自宅での転倒も増えているため、今後も移動の際には十分注意し、再発防止に努める。

※ 送迎車内でシートベルトを外し、席を移動してるヒヤリハットがあった。帰宅時、自宅と逆方向に車が向かったため、落ち着かなかったと考えられる。送迎順を検討し再発防止に努めた。

※ 臥床の際、履いている紙パンツをちぎって口に入れてしまう異食行為があった。利用中の失禁は殆どないことから、利用中は布パンツを着用していただき再発防止に努めた。

【事例】

利 用 者 の 概 要	氏名年齢等	M.S様 72歳 女性
	家 族 構 成	一人暮らし
	介 護 度	要介護 2
	病 歴	脳梗塞、アルツハイマー型認知症
	生 活 歴	両親が経営する飲食店を姉妹で手伝い、廃業後は松村病院厨房勤務。退職後はコンビニへ外出以外は家にこもり、日中から飲酒、喫煙。物忘れ現れ、アルツハイマー型認知症の診断あるが服薬できていない。金銭管理も困難で、別居の義兄が管理している。入浴していない。在宅生活継続のため、R3.10幸寿苑認知型通所を利用開始。

支 援 経 過

(R3.10) 週一回利用開始。声が大きく、短期記憶の欠乏、帰宅願望もあり、何度も大きな声で同じ話の繰り返しが聞かれている。職員や他利用者には積極的に話しかけ、社交性は高いが言葉は乱暴。自宅で入浴していないが、入浴の声掛けには拒否あり実施できない。

(R4.6) 利用開始当初より、大きな変化は見られないが、職員数名の名前や毎回会う利用者様の名前は記憶している。入浴拒否あり月に1,2回の入浴だったが、突然拒否なく毎回実施できるようになる。開始当初より語彙が強く、他者を批判する発言が多く聞かれていたが、徐々にエスカレートし、他利用者に対し、「バカじゃないの？」等の暴言あり、職員が仲裁する。第三者が怖がる様子も見られている。

(R4.10) 同じ話を繰り返している利用者に対し、苛立ち頻繁にののしるため、言い争いに発展する。席を離し対応し、状況は治まる。

(R5.3) 他利用者への暴言が頻繁になり、「死ねばいい」等の発言も聞かれる。目が不自由な利用者が午睡時間に話をしていた所、「うるさい！」と軽くたたく行為があり、職員が仲裁する。

※ 上記のケースについて、対応を検討し、S様が職員とは穏やかに会話できているため、通常2名で対応する居室担当を3名にし、できる限り職員が隣に座り会話するよう心掛けた。職員によってはS氏の発言にストレスを感じる者もおり、一人の職員が長時間対応することのないようローテーションしていたが、職員の目が届かない時間帯に事故が起きてしまった。叩かれた利用者を先に布団へ誘導し再発防止対策としたが、服薬治療をしていないS氏に対し、週一回の利用でどう働きかけ認知症進行予防に努めていくべきか、今後も検討を続けていく。

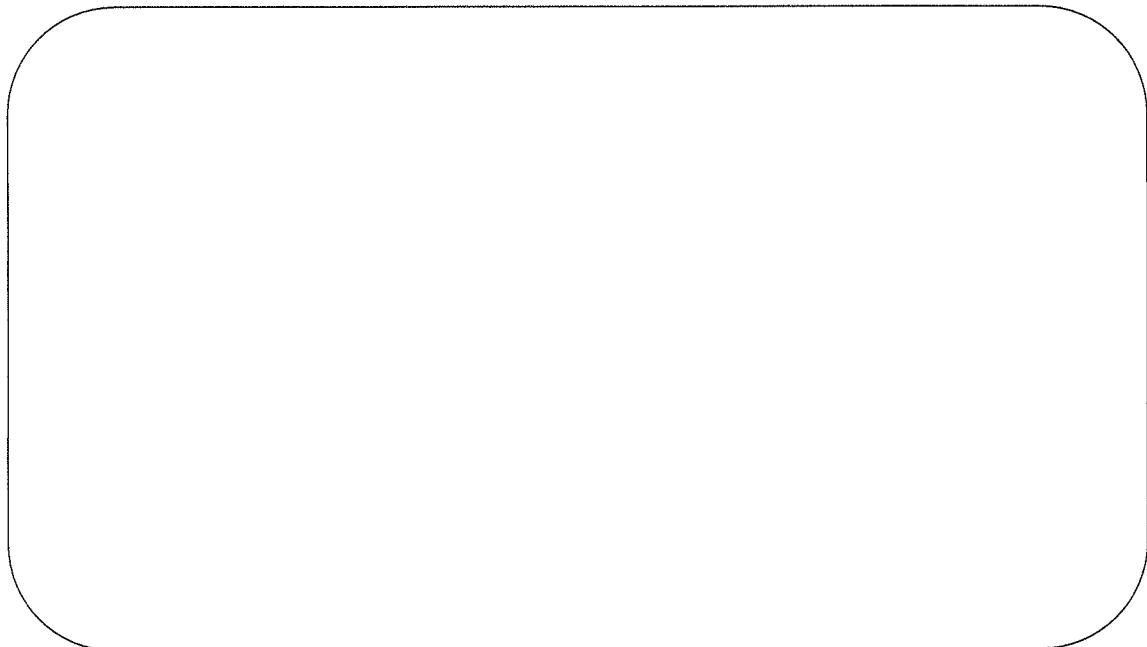
確認書

令和 4 年度 第 2 回運営推進会議報告等を文書にて確認しました。

令和 5 年 月 日

氏名 印

委員からのご意見

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for handwritten comments from commissioners.